

ゆりはま



たごえ

ココらへん



目次

ゆりはま定住マップ	P 3
あなたの田舎暮らしを見つけるために	P 5
とっとり暮らしアドバイザー	P 6
移住定住者インタビュー	P 7
仕事の情報・支援制度	P 11
応援します この町で子育て	P 13
住宅情報・支援制度	P 15
ゲストハウス「たみ」	P 17
ゆりはま暮らし体験ボランティア制度	P 18
ゆりはまフェロー募集中!!	P 19
ゆりはま暮らしお試し住宅	P 20
移住定住者向けの支援制度一覧表	P 21
移住相談窓口はこちら	P 22





飛行機

- 東京から約70分 ⇒ 鳥取砂丘コナン空港から車で約40分、米子鬼太郎空港から車で約80分

J R

- 大阪から特急スーパーはくとで約3時間
- 岡山から山陽本線・智頭線・山陰本線経由で約2時間50分
- 岡山から伯備線・山陰本線経由で約2時間50分 ⇒ 倉吉駅到着後車で約10分

バス

- 大阪・神戸から倉吉駅まで高速バスで約3時間40分
- 広島からハワイアロハホールまで高速バスで約4時間45分
- 岡山から倉吉駅まで高速バスで約2時間30分

自動車

- 大阪から中国自動車道、鳥取自動車道を通り約2時間50分（鳥取市内から約40分）
- 広島から中国自動車道、松江自動車道、R9を通り約3時間10分（湯原ICから約60分）
- 岡山から岡山自動車道、米子自動車道、R313、R179を通り約2時間10分



あなたの田舎暮らしを見つけるために

移住へのステップの決め手は何よりも、自分の目で確かめること。

観光や体験を通して、もっと湯梨浜町を知ってください。

暮らしのこと、住まいのこと、何でもお気軽にご相談ください。

①まずは……移住先でどんな暮らしがしたいのか明確になっていますか？

「何となく、のんびり暮らせそうだから」では、思わぬ困難に出会ったときにくじけてしまうかもしれません。

②そして……この町を知るためには自分で訪れてみるのが大切です。観光や体験ボランティア（P18）でこの町を肌で感じてみてください。

夏と冬、昼と夜など、この町の異なる姿をしっかりと見てから移住を検討しましょう。

③家族としっかり話し合っ計画を進めてください。

移住について家族の賛同を得ていますか？

一人だけ先走りして何もかも決めてしまうと、家族間のトラブルになることもあります。家族としっかり話し合い、お互いに納得をしてから計画を進めましょう。

《よくある質問》

■雪って大変？

湯梨浜町は例年雪が降ります。積雪量はその年によって違いますが、自動車の運転に冬用タイヤは欠かせません。雪が積もると雪かきが必要なこともあります。冬場の運動不足解消のためのほどよいエクササイズにもなりますよ。また、県内にはスキー場があり、冬ならではのスポーツや遊びを楽しめます。

■買い物や病院はどうするの？

湯梨浜町には、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、飲食店などがあり、生活に必要なものはある程度揃えることができます。ただし、公共交通機関が少ないため、車がないと何かと不便ですが、町内で交通渋滞はほぼありません（町では、移住定住者が運転免許を取得する際の費用や、ペーパードライバー講習の受講費用に助成金を交付します）。

町内には一般診療所6施設（うち小児科2施設）、歯科医院5施設もあります。隣接する倉吉市には総合病院もあるため、医療機関についても心配はありません。

■遊ぶところはある？

都会のようなアミューズメントスポットはありませんが、豊かな自然を楽しめる場所はたくさんあります。キャンプやバーベキュー、海水浴、釣りなど、季節ごとの遊びを楽しめます。

ウォーキングも盛んで、東郷湖を巡る道は全日本ノルディック・ウォーク連盟公認コース・全国第1号です。

■文化や生活習慣について都市部との違いは？

町内の多くの集落では、一斉清掃やごみ当番、祭りなどの行事に参加したり、役割を担ったりすることが求められます。個人主義が進んだ都市部の生活に慣れた人は面倒と思うかもしれませんが、自分たちで地域づくりを行っていくのが田舎暮らしのいいところ。集落の皆さんと仲良くなるチャンスでもあります。

気になることがあったらお気軽にご相談ください。

相談窓口 湯梨浜町デジタル・みらい戦略課 電話 0858-35-3141

私も応援します。ゆりはま暮らし。 「相談会で見かけたら、気軽に声をかけてください」

とっとり暮らしアドバイザー



樋口浩司さん

2004年に東京都から湯梨浜町に移住。自身が栽培して製品化したバジルソースは、鳥取県商工会連合会の「とっとり自慢」に認定されている。アイスクリーム作りや、遊休農地を開拓してオリーブ栽培などにも挑戦している第一人者。



唐崎大義さん

2016年に和歌山県から湯梨浜町に移住。特産の梨を作っている。夜明けとともに圃場にでかけ、日暮れまで梨の樹を見るくらい、趣味と実益を兼ねて仕事をしている。



三宅美智雄さん・香さん

2018年に大阪府から湯梨浜町に移住。自然豊かで温泉もある湯梨浜町での生活を満喫中。湯梨浜町だけでなく、県内の観光地、温泉、季節ごとに名所を巡り、インスタグラムやブログで発信中。



三宅修兵さん・優子さん

2021年に大阪府から湯梨浜町に移住。ミニシアター運営のほか、無農薬の米作り、空き家のDIYによる改装など、湯梨浜暮らしを満喫中。



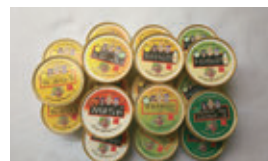
安藤翔馬さん

2018年に神奈川県から湯梨浜町に移住。専業農家として梨づくりに励んでいるほか、田舎暮らしや農業に興味のある大学生などを農作業体験に受け入れるなど、交流活動にも尽力している。

バジルやメロン等を使った樋口さんこだわりの加工品

※とっとり暮らしアドバイザー

移住定住を検討している人などに対して、地域の生活情報の提供や自身の経験を踏まえた相談対応を行う鳥取県に委嘱されたアドバイザー。



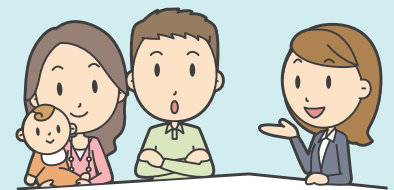
移住コーディネーター

移住コーディネーターは、湯梨浜町への移住定住の最初の相談窓口です。湯梨浜町への移住定住に関して気になることをご相談ください。

Zoomを用いたオンライン相談もしています

相談例

- 暮らしぶりについて聞いてみたい
- 空き家、住宅情報を聞きたい
- 移住後の仕事について聞きたい
- 移住定住に関する支援情報を知りたい
- 実際に湯梨浜町に来て、生活を体験してみたい など



ご相談に合わせて、各関係機関へ取り次ぎもします。

お問い合わせ先：0858-48-6210（湯梨浜まちづくり株式会社）

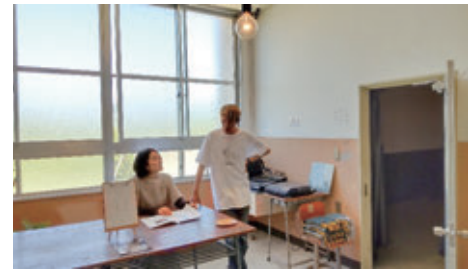


大阪府から1ターン

三宅 修兵さん

優子さん

相(たすく)さん



湯梨浜町の廃校を利用したミニシアターの受付。入口の横の壁には有名な映画監督のサインが。



ミニシアター内部。少人数で広々と鑑賞できます。

三宅さん一家は大阪府から湯梨浜町に1ターンして、ミニシアターを運営しています。

「出産を機に、自然豊かなところで子育てしたいと移住を考えるようになりました。様々な移住候補地を見つつ、やりたいことができる場所を探していたら湯梨浜町にたどり着きました」

三宅さん夫妻が運営するミニシアターは東郷湖畔の「さくら工芸品工房」内にあり、駅や東郷温泉から程近く、周辺にはカフェ、雑貨屋、古着屋、古本屋、コンビニ、宿泊施設などがあります。

「知人がいるので、過去に何度か湯梨浜町に来たことはありましたが、自動車免許教習所の合宿で湯梨浜町に数週間滞在したことで暮らしをイメージすることができ、町の良さに気づきました。自転車で出かけると、おいしい魚のあるスーパーや、海、山、湖もすぐ近くにあることがわかりました」

年間300本映画を見るほどの映画好きで、かねてよりオルタナティブスペースのような人が集まる場所を運営したいという夢があった修兵さん。山陰地方にミニシアターが無いことと、先輩移住者の知人がいたこともあり、湯梨浜町でミニシアターを営むこととなり

ました。

「コロナ禍の中でミニシアターをオープンしましたが、遠くに出かけられない地元の人の娯楽の一つとして楽しんでもらえているようで、あまり影響は感じていません。都会に比べて施設の賃借料が安いので広くスペースを使えますし、1本の映画を丁寧に上映できるので、配給会社からも喜ばれています。鳥取県の真ん中にあるので、倉吉市はもちろん鳥取市や米子市、島根県の松江市からもお客様が来てくださいます」

湯梨浜町は鳥取県の中部に位置しており、県内の移動は比較的便利です。このほかの町の魅力についても、三宅さんは教えてくださいました。

「同年代の子どもがいる友人たちと助けあって子育てしていますので、悩みを家族だけで抱えずにいられます。近所の人たちも面白い人ばかりで、イベントが多く、町内外の人と交流の機会も多いです。休みの日には、仲間と一緒に米作りにチャレンジしています。大変なこともありますが、住んでみたら、ここしかなかったと思うくらい毎日楽しいです。現在の目標はDIYで空き家を改修することです」

(2022年5月取材)

孫ターンで就農

神奈川県から1ターン
安藤 翔馬さん



梨の小袋かけをする安藤さん。病害虫から果実を守るための大切な作業です。



生まれも育ちも東京の安藤さんは、社会人4年目の年に住んでいた神奈川県からおじいさんが住む湯梨浜町に移住しました。

「子どもの時から毎年、湯梨浜町に帰省していました。小学生の時には梨の袋かけをさせてもらったり、大学時代には4年間欠かさず夏休みを利用し収穫を手伝ったりしました。大人になり、全国各地に旅行に出かけた際、湯梨浜町の良さに気づかされました」

学生の中から、東京で会社勤めのまま年を重ねるイメージが湧かなかったという安藤さん。

「手に職をつけたい、職人さんのようにになりたい、と以前から思っていました」

そんな時、安藤さんは子どもの時から好きだったおじいさんの梨づくりを思い出しました。

「梨の作り手が減っていると知り、それなら自分がやってみようと、就農を決意しました」

安藤さんは移住して農業大学の研修を受けたのち、県や町の農業支援制度を活用して梨農家となりました。

「自分で手をかけて作ったものを収穫できて、それを誰かに食べてもらって、おいしいと感想を直接もら

えたときが一番やりがいを感じます」

就農してしばらくは仕事ばかりだったという安藤さん。

「今年から地域おこし協力隊を受け入れたこともあり、休める時はしっかり休むようにしました。以前から様々なアクティビティに行きたいと思っていましたが、今年の夏に初めてサーフィンを経験して、冬にはスノーボードに行きました」

安藤さんは、梨を生産して販売するほかに、やりたいことがあるといいます。

「梨を中心に、関連する事業を色々な方向に広げていきたいです。子どもたちや新しく農業を始めたい人、農業に関係することを学びたい人を受け入れたりがつたりして、農業や果物づくりの現場を知ってもらえる機会を作りたいと考えています。都会で生まれ育った人の中には、本当に食が作られる現場を全く知らずに大人になる人もいます。それって問題だな。普段自分たちが口にしているものがどうやって作られているかを知って、食べてもらえたらいいなと思っています」

(2022年11月取材)

この町で1ターン漁業

千葉県から1ターン
朝日田 卓朗さん



漁具の手入れをする朝日田さん。漁を成功させるために準備は欠かせません。

千葉県からの1ターン後、朝日田さんは湯梨浜町で漁師になりました。

「以前から田舎暮らしへの憧れがあったんです。ゴミゴミした都会が苦手でした」

会社員だったころは、満員電車で往復2時間の通勤をしていたという朝日田さん。今では住居のすぐ前に広がる日本海が仕事場です。

「もともと釣りが好きで、漁業の研修制度を知った時はピッタリだと思いました」

漁業に従事することを決めて湯梨浜町を訪れたのは32歳の時。

「海があって、山があって、思い描いていた田舎そのものでした」

先輩漁師の元で約3年の研修を行った朝日田さんですが、最初は「漁師言葉」にとまどったと言います。

「みんな大きな声ですからね、怒られているのかと誤解していました。しかし、みんな人は良くて、助けを求めればとことんまで助けてくれます。今でも本当に可愛がってもらっています」

慣れない作業や船酔いに苦労しながら、朝日田さん

は研修を終了。その後、湯梨浜町で奥さんと知り合い結婚します。さらに、鳥取県の補助制度を活用して自分の船を購入して独り立ちしました。船名「青斗丸(あおとまる)」は奥さんの命名です。

「漁業の魅力は、上司も部下もない、一人の仕事というところですね。その日の失敗も成功もすべて自分の責任です」

自然を相手にする漁業においては、常に工夫が必要になります。天候・潮の流れ・網の目の大きさ・魚群を見つけること・上手に網を打つこと、すべての条件が揃わなければ魚は捕れません。

「だからこそ、大漁時の喜びは格別です。もうサラリーマンに戻ろうとは思いません。それに漁師のいいところはもう一つあるんですよ。とにかく旨い魚が食えるんです。アジでも、ハマチでも、新鮮な刺身はみんな旨いですよ」

漁業は、全国的に高齢化が進み、担い手不足に悩んでいます。「食卓に魚を届ける大切な仕事。誇りが持てる仕事だと思います」と朝日田さん。将来の夢は「一生、漁師でいること」です。

(2016年4月取材)

1ターンの 地域おこし協力隊

千葉県から1ターン
田中 恭平 隊員



スマートフォン教室での田中さん。マンツーマンでじっくり教わることができるので好評です。



地域おこし協力隊として活躍している田中さんは東京生まれ東京育ち。コロナ禍をきっかけに、自然が豊かなところで暮らしたいと考えるようになりました。

田中さんは、東京の会社で営業の仕事をしていました。「いきなり民間企業に転職して移住するのはハードルが高いと感じていたので、まずは地域おこし協力隊として働こうと考えました。多くの自治体で募集していましたが、町名にインパクトがあったのと、自然豊かで美味しい海の幸がある地域に暮らしたかったので、湯梨浜町を選びました」

田中さんは湯梨浜町を訪れたことはありませんでしたが、持ち前の好奇心と行動力で地域おこし協力隊に応募し、移住することになりました。

「住んでみると、思った以上に暮らしやすいです。新鮮な海の幸が並んでいるスーパーに車で5分～10分くらいで行けます。よく散歩しますが、海や東郷湖の景色も気に入っています。冬は寒いですが、もともと寒いのが好きなので、雪がたくさん降ったときは

ワクワクしました」

田中さんの主な業務は、初心者向けのスマートフォン教室です。デジタル庁の「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を」の実現に向けた取り組みの一つとして実施しています。スマートフォン教室は大手キャリアや県でも実施していますが、田中さんのスマートフォン教室は、地域密着で個別相談、訪問相談に対応しているのが特徴です。

「これまでの仕事で経験したシステム、サーバーの保守管理業務や、営業の経験が役に立っています。リピーターもいらっしゃいます」

地域おこし協力隊として地域住民と関わりつつ、日々の暮らしを楽しんでいる田中さん。

「今一番楽しみにしているのは、湯梨浜町で開催されるお祭りなどのシーズンイベントです。花火や出し物、ドラゴンカヌーも見てみたいです」田中さんの湯梨浜町開拓は始まったばかりです。

(2022年5月取材)

仕事の情報・支援制度

● ゆりはまで農業

農業を始めるには、準備が大切です。しっかり調べて、焦らず相談して、一緒に考えましょう。
まずにご相談ください。

相談窓口 湯梨浜町産業振興課 電話 0858-35-5384

① まずは体験制度の活用をお勧めします。

農業体験制度概要

研修の種類	内 容	実施主体
就農体験研修	栽培、飼養の農作業体験	鳥取県立農業大学校
農業視察研修	農家、農業生産法人の視察（日帰り、1泊2日）	公益財団法人 鳥取県農業農村担い手育成機構
農家視察訪問研修	先進農家等の視察訪問、農作業体験、個別相談など	

※研修の日程・募集については実施主体にお問い合わせください。

鳥取県立農業大学校

〒682-0402 倉吉市関金町大鳥居1238

電話 0858-45-2411 FAX 0858-45-2412

(公財) 鳥取県農業農村担い手育成機構

〈鳥取本部〉

〒680-0011 鳥取市東町1丁目271（県庁第二庁舎）

電話 0857-26-8349 FAX 0857-29-4867

ホームページ <https://www.t-agri.com/ninaitekiko/>

E-mail tnk@t-agri.com

② その後は研修にチャレンジ

研修制度概要

研修の種類	内 容	実施主体
アグリチャレンジ科	公共職業訓練として、4カ月間、農業の基礎知識のほか、実践に活かせる基本技能を習得	鳥取県産業人材育成センター倉吉校 (訓練場所は鳥取県立農業大学校)
スキルアップ研修	主として農業後継者が、就農品目について、一連の管理作業を自力で行う「模擬経営」を体験	鳥取県立農業大学校
アグリスタート研修事業	集合研修：経営者としての心構え、農村での暮らし、農業の基礎等必須事項の習得 実務研修：研修指導農家での実践農業技術、経営ノウハウの習得	公益財団法人 鳥取県農業農村担い手育成機構
親元就農促進支援交付金	認定農業者等の後継者が親の経営に従事しながら親元で行う就農研修に対して最長2年間、月額10万円を交付	町

③いよいよ起業 各種助成制度の活用を

事業名	事業の内容	事業費・実施期間
新規就農者育成総合対策	経営開始資金 新たに経営を開始する49歳以下の町・県が認定した新規就農者に資金助成	150万円/年を最長3年間
	就農準備資金 県が認定する研修期間で研修する49歳以下の研修生に資金助成	150万円/年を最長2年間
	経営発展支援 新たに経営を開始する49歳以下の町・県が認定した新規就農者に機械・施設等の導入支援	機械・施設等の導入500万円（対象事業費上限）の4分の3を支援
就農応援交付金	認定新規就農者に対し、就農初期に係る運転資金、基盤整備費などに活用できる交付金を交付 上限額 1年目 10万円/月 2年目 6.5万円/月 3年目 4万円/月	上限246万円（3年間）
就農条件整備事業	新規就農者の就農時および就農から5年以内に必要な機械、施設を新規就農者が整備する場合に助成	上限1,600万円 就農時から5年以内
担い手ステップアップ支援事業	担い手農家（認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織）とともに担い手農家候補者になり得る中高年層、中規模農家に対して支援。	①就農奨励金 就農3年以内の対象者に対し定額30万円 支援対象者：準認定新規就農者 ②新規就農者住宅家賃補助 町外から転入する就農者が賃貸住宅に住む場合、その家賃の一部を助成 月額2万円、最大2年間 支援対象者：認定新規就農者、準認定新規就農者 ③中古農業機械導入補助 中古農業機械の導入費用の一部を助成 補助率 1/3以内 認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織 10万円～50万円 準認定農業者、準認定新規就農者 10万円～30万円 ④農業機械修理補助 農業機械の修理に要する経費の一部を助成 補助率1/3以内 集落営農組織 5万円～30万円 その他対象者 5万円～25万円 支援対象者：認定農業者、認定新規就農者、準認定農業者、準認定新規就農者、集落営農組織

※認定新規就農者・準認定農業者・準認定新規就農者の要件、就農応援交付金・就農条件整備事業の交付額、交付期間などについては相談窓口へお問い合わせください。

※新規就農者育成総合対策と就農応援交付金の二重受給はできません。それぞれの給付要件については相談窓口へお問い合わせください。

●ゆりはまで起業

空き店舗などを活用した開業を支援

「湯梨浜町チャレンジショップ支援奨励金」

地域に根ざした特色あるショップ開業者、起業者などを支援するため、町内の空き店舗や空き家を借りて新たにお店を開く人を対象に、賃借料（住居部分を含む）の一部を奨励金として交付します。（補助率1/2、月額上限5万円、最長1年）

創業や販路開拓などの取り組みを支援

「湯梨浜町創業・販路開拓支援事業補助金」

商工団体や金融機関などの認定経営革新等支援機関の指導を受けながら、創業や販路開拓などに取り組む人を対象に、対象経費の一部を補助金として交付します。

①創業・新しい分野への進出のための事業 補助率1/2（上限50万円）

②販路開拓のための事業 補助率1/2（上限20万円）

※事業継承に伴う事業と認められる場合は補助率2/3

相談窓口 湯梨浜町産業振興課 電話 0858-35-5383

●鳥取県で就職

スマホ・携帯・パソコンで求人情報をゲット！

○とっとり仕事★定住人材バンクシステム

鳥取県に就職したい、帰りたいという人ならどなたでも登録OK

相談窓口 公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構 電話 0857-24-4740

○鳥取県立ハローワーク

鳥取県内・東京・大阪の拠点やふるさと鳥取県定住機構と連携してサポート
ホームページ <https://www.tori-hello-w.jp/>

相談窓口 県立東京ハローワーク 電話 03-6280-6951

県立関西ハローワーク 電話 06-6346-1786



応援します この町で子育て

湯梨浜町は子育て支援制度が充実しています。

相談・支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠・出産から入学まで切れ目のない支援を目指しています。

相談窓口 湯梨浜町子育て支援課 電話 0858-35-5321

①妊娠前

不妊治療費助成

医療保険が適用される不妊治療も含めた特定不妊治療・人工授精について助成を行います。回数は無制限です(43歳到達後は3回まで)。また、不育症治療についても助成を行います。

②妊娠が分かったら

母子手帳の交付を受けましょう

心配ごとは保健師に相談。出産、育児をサポートします。

妊婦健診・産後健診・妊婦歯科健診制度

それぞれ無料で受診することができます。

出産・子育て応援給付金の支給による経済的支援

妊娠・出産期の不安や悩みを軽減するため、専門職員との面談やアンケートを通じた相談支援を行うほか、面談やアンケートを受けられた方を対象として、妊娠・出産の各時期にこども一人につき5万円(計10万円)を支給します。

③出産したら

新生児訪問から育児のサポートやお母さんのケア開始

おおむね1カ月以内に保健師が新生児訪問を行います。

産後ケア事業や、産前産後ホームヘルパー派遣制度もあります。

乳幼児健診で発達の遅れや病気の早期発見を行っています。

(個別健診：1カ月*、3~4カ月、9~10カ月、集団健診：6~8カ月、1歳6カ月、3歳、5歳) ※一部自己負担(1歳児すくすく相談、2歳児歯科健診・すこやか相談、2歳6カ月児歯科健診)

その他、むし歯予防教室や離乳食講習会も開催。

子育て支援センターに行ってみましょう

友達づくりと情報交換ができます。

子育て支援センターでは、こども園・保育園に入園していない町内在住の子どもとその養育者に交流と遊びの場を提供しています。保育士・保健師・管理栄養士などの専門相談により、より充実した子育てをサポートします。原則、予約不要で無料です(行事によっては必要な場合があります)。

④スマートフォン向け電子母子手帳「笑顔ゆりはま子育てアプリ」

妊娠中から出産・子育て期にかけて、健診、予防接種と大忙しの子育て世代に、安心してお子さんの健やかな育ちを楽しんでいただける支援ツールとしてご活用いただけます。

- ・対象：妊婦さんと子育て世代の人
- ・主な機能：湯梨浜町の子育て情報の配信
成長や思い出の記録
予防接種のスケジュール管理
オンライン相談によるサポート



⑤保育への支援も充実

全国的にも低額な保育料

保育料はおおむね国の基準の4割~6割です。多子世帯への経済的支援も充実しています。

家庭保育への支援

生後8週間を超えて2歳になるまでの乳幼児を家庭で保育する父母や祖父母に対し、月3万円を支給します。ただし、育児休業給付金を受けていないなど要件があります。

⑥多子世帯への支援

第3子以降の出産、小学校入学、中学校卒業時に祝金をそれぞれ、5万円、3万円、3万円支給します。

⑦子育てと就労の両立支援

休日や子どもが病気になった時でも、安心して子どもを預けられる休日保育事業、病児・病後児保育事業を実施しています。急用時に預かってもらえるファミリーサポートセンター事業もあります。

⑧その他、チャイルドシートの無料貸し出しや、予防接種、子どもの医療費の助成制度もあります。

子育てや家庭問題への相談体制も充実

「ゆりはますこやかライン」を開設しています

湯梨浜町では、子育て相談専用電話として「ゆりはますこやかライン」を開設しています。

電話 090-7049-5733 (夜間・休日も対応) E-mail kosodate189@gmail.com

自然の中で健やかに育つ

この町の学校・こども園・保育園情報

それぞれの学校やこども園などで「田舎じゃなければできない体験」「地域の人達とのふれ合い」体験を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育む保育・教育を目指しています。

充実した設備と自然に恵まれた立地。子どもたちはこの町の自然の中で、学び・遊び・大きくなっていきます。

相談窓口 湯梨浜町教育総務課 電話 0858-35-5364

小学校・中学校・高等学校

(町立学校)

- 羽合（はわい）小学校 湯梨浜町はわい長瀬535番地
- 泊小学校 湯梨浜町泊280番地
- 東郷小学校 湯梨浜町小鹿谷820番地
- 湯梨浜中学校 湯梨浜町長江51番地



(羽合小学校)



(東郷小学校)



(泊小学校)

(私立学校)

- 湯梨浜学園中学校・高等学校（中高一貫教育） 湯梨浜町田畑32番地 1

★少人数できめ細かな教育！

小学校1～4年生は30人学級、その他の学年は33人学級で編成。中学校1年生は33人学級、その他の学年は35人学級で編成しています。

★ふるさと教育を推進！

町の歴史や文化、自然、人々の営みなどを体感できる学習を進めています。

相談窓口 湯梨浜町子育て支援課 電話 0858-35-5325

認定こども園・保育園

(町立認定こども園)

- はわいこども園 定員：160人 湯梨浜町光吉107番地 1
- たじりこども園 定員：120人 湯梨浜町田後781番地 2
- ながせこども園 定員：140人 湯梨浜町はわい長瀬544番地
- あさひこども園 定員：100人 湯梨浜町泊1175番地 7
- わかばこども園 定員：60人 湯梨浜町宇谷606番地 1
- とうごうこども園 定員：130人 湯梨浜町門田3番地
- まつざきこども園 定員：60人 湯梨浜町中興寺192番地 1

(私立保育園)

- 太養保育園 定員：30人 湯梨浜町方地511番地 1
- ニチイキッズ湯梨浜ながえ保育園 定員：30人 湯梨浜町長江202番地 6



(あさひこども園)



(はわいこども園)



(とうごうこども園)

★全国的にも低額な保育料！

- ①第3子以降の保育料無料
- ②第2子の保育料無料または軽減

★地域に開かれた園をめざして、オープンデー、園公開を実施！

住宅情報・支援制度

都市部に比べて住居費が安価なのも田舎暮らしの利点です。湯梨浜町では、空き家・空き地情報バンクや補助金の交付で、この町での住宅取得を支援しています。(詳細については相談窓口にお問い合わせください。)

相談窓口 湯梨浜町デジタル・みらい戦略課
電話 0858-35-3141

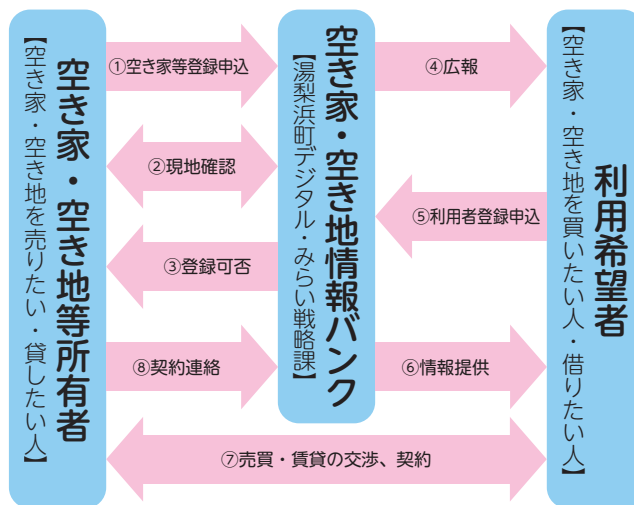
空き家・空き地情報バンク制度

湯梨浜町は、定住による地域活性化と空き家の有効活用のため、「空き家・空き地を売りたい人・貸したい人」と、「空き家・空き地を買いたい人・借りたい人」とのマッチングをおこなう「空き家・空き地情報バンク」を運営しています。

制度の内容・空き家・空き地情報については町HPをご覧ください。

HP <https://www.yurihama.jp/soshiki/7/1550.html>

空き家・空き地情報バンクのイメージ



移住定住者住宅支援事業補助金(※)

対象……鳥取県外から新しく移住する人、移住して6カ月以内の人で5年以上定住しようとする人が条件です。

住宅の整備内容	移り住む人数	整備費に対する補助率	補助金上限
新築（購入）	1人	5/100	50万円
	2人以上	10/100	100万円
改修	—	5/100	50万円
町土地開発公社分譲地に新築（購入）	1人	10/100	200万円
	2人以上	20/100	200万円

若者夫婦・子育て世代住宅支援事業補助金(※)

対象……どちらかが35歳以下の夫婦、または中学生以下の子ども2人以上を養育する世帯で5年以上定住しようとする人が条件です。

住宅の整備内容	整備費に対する補助率	補助金上限
新築（購入）	5/100	50万円
国の規定する中山間地域に新築（購入）	6/100	60万円
町土地開発公社分譲地に新築	10/100	100万円

※国の規定する中山間地域……泊地域全域、東郷地域全域、羽合地域の一部（大字橋津、赤池、上橋津、宇野）

三世代同居世帯等支援事業補助金(※)

対象……町内で新たに三世代以上で同居する人で5年以上定住しようとする人が条件です。

住宅の整備内容	整備費に対する補助率	補助金上限
新築（購入）又は改修	5/100	50万円
国の規定する中山間地域に新築（購入）又は改修	6/100	60万円

(※)……住宅ローン【フラット35】の借入金利を一定期間引き下げる制度があります。

移住定住者家賃助成事業補助金

対象……鳥取県外から移住して6カ月以内の人で3年以上定住しようとする人が条件です。

補助の対象内容	家賃負担額に対する補助率	補助金上限
実質家賃負担額 (家賃から住宅手当を控除した額)	1/2	月額1万円 (1年間)

移住定住中古住宅修繕支援補助金

対象……中古住宅を購入し県外から移住した人、または県外からの移住者で中古住宅を購入した人で、移住から5年を経過しておらず、修繕から5年以上定住しようとするのが条件です。

補助対象となる経費	対象経費に対する補助率	補助金上限
中古住宅の修繕に要する経費（50万円以上）	1/4	25万円

空き家利活用流通促進事業補助金

対象……空き家を、賃貸または購入する町内に在住する人（実績報告日までに町内に移住する人を含みます）で5年以上の居住および空き家を10年以上利活用することが条件です。

補助対象となる経費	対象経費に対する補助率	補助金上限
住宅転用型（住宅→住宅）	改修 国の規定する中山間地域の改修	50万円
		60万円
非住宅転用型（住宅→ゲストハウス等）	改修	90万円

湯梨浜町結婚新生活支援事業

対象……夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得が400万円未満（世帯収入540万円未満）の新規婚姻世帯が条件です。

住宅の整備内容		整備に対する補助率	補助金上限
29歳以下	新築（購入）	5/100	80万円
	国の規定する中山間地域に新築（購入）	6/100	90万円
	町土地開発公社分譲地に新築	10/100	130万円
30～39歳	新築（購入）	5/100	65万円
	国の規定する中山間地域に新築（購入）	6/100	75万円
	町土地開発公社分譲地に新築	10/100	115万円

住宅等取得仲介手数料補助金

住宅の購入や住宅用地の取得に要した仲介手数料の一部を補助します。

【助成内容】

対象……補助金の交付を受けてから5年以上定住しようとする人

補助対象となる経費	対象経費に対する補助率	補助金上限
宅地建物取引業者に支払った仲介手数料	1/3	13万円

※各補助金は、住宅の工事および購入に係る契約を締結する前に、交付申請書をデジタル・みらい戦略課に提出してください。

湯梨浜町土地開発公社 分譲地情報

- ・橋津（はしづ）団地 坪単価 約69,421円
区画面積 300.87㎡ 分譲地価格 6,318,270円
HP <https://www.yurihama.jp/soshiki/3/2299.html>



震災に強いまちづくり促進事業（住宅・建築物の耐震化支援制度）

相談窓口 湯梨浜町建設水道課 電話 0858-35-5314

湯梨浜町は、震災に強いまちづくりを推進するため、町内の住宅・建築物の耐震化を支援します。

【助成内容】

無料で受けられる耐震診断や、耐震改修工事に対する100万円補助などがあります。

詳しくは町HPをご覧ください。

HP <https://www.yurihama.jp/soshiki/13/15423.html>

ゲストハウス「たみ」



暮らす人の目線になって、町を体験しませんか？

たみは、2012年10月に湯梨浜町で、元旅館の木造二階建ての建物を利用し、ゲストハウスとカフェとしてオープンしました。たみでは、「暮らす人と旅人が出会う場所」を提供することで、暮らす人しか知らない穴場スポットや地域独特の生活文化に触れることを観光資源であると捉えています。私たちは、たみを通じて、暮らす人と旅人それぞれに、異なった価値観と出会い、一人一人の生活における新たな「暮らし」を創造することを目指しています。

HP www.tamitottori.com/



ゲストハウス

～セルフサービスが基本～

宿泊料金：ドミトリー3,100円／個室4,300円～／素泊まり／1名
お部屋：男女混合相部屋（定員6名）×1室、
個室（定員1～6名）×4室
布団一式とまくらとシーツを用意しています。
ベッドメイキングは各自でお願いします。
※ドミトリーはベッドごとに個室カーテン、照明灯、コンセントも完備。共有空間が、交流のきっかけに。

カフェラウンジ

～暮らす人と旅人が出会う場所～

手作りのスパイスカレー、ルーロー飯などの定食ものでお食事したり、手作りケーキとこだわりのドリンクでティータイムも。昼夜気ままにお食事をご利用いただけます。



ゆりはま暮らし体験ボランティア制度

地域住民と一緒に、湯梨浜町を知るため、

ゲストハウス「たみ」に泊まって、ボランティア体験しませんか？

ボランティア前日・当日のたみの宿泊費は最大3泊分まで町が負担します。食費・交通費は自己負担となります。

高齢化や人手不足、地域の問題を県外からの移住定住希望者とともに解消する、地域住民と移住定住者が一緒にまちづくり・地域づくりを行う、それが「ゆりはま暮らし体験ボランティア制度」です。

共同で作業に取り組むと、観光では味わうことのできない地域住民との連帯感を得ることができます。

1日でもOKです。湯梨浜の暮らしを体験してみてください。

募集中のボランティア

※ボランティアの従事希望日は事前に湯梨浜町にご相談ください。

● 樋口農園 農作業

とっとり暮らしアドバイザーの樋口浩司さん（P6）は東京からの1ターンで就農。農作物の生産から加工まで1人でこなしています。

移住後、趣味で農業をやりたい人も、就農を検討されている人も農作業の体験をしてみませんか。

作業日 通年



● 安藤翔馬さん 農作業

孫ターンで移住し、梨農家として就農した安藤さん。とっとり暮らしアドバイザーとしても活動しています（P6）。

湯梨浜町特産の梨がどのように作られるのか知りたい人、農作業に興味がある人の申し込みをお待ちしています。

作業日 通年

● カフェ梅や 高齢者とのふれあい

「地元のお年寄りを大切に」をモットーに、地元女性有志が立ち上げた「カフェ梅や」。毎週火曜日に地元の高齢者が集まり、談笑・合唱で賑わいます。一緒に交流や給仕をしていただけるボランティアを募集中です。

作業日 毎週火曜日

10月のみ3・8が付く日（3日・8日・13日・18日・23日・28日）



● ぱにーに湯梨浜店 地元のお客様と交流

東郷湖畔に面した立地を活かし、景色を楽しみながらのんびりと過ごせるパン屋さん。店内には足湯があり、パンを食べながら温泉につかることもでき、地元のお客様もたくさん来店されます。スタッフと一緒に接客などをしていただけるボランティアを募集しています。

作業日 通年

参加申込は

湯梨浜町デジタル・みらい戦略課 電話 0858-35-3141
<https://www.yurihama.jp/site/taikenv/18977.html>

ゆりはま暮らし体験ボランティア

検索

ゆりはまフェロー募集中!!

● ゆりはまフェローとは

町のファンや関わりのある人（関係人口）のことで。

※関係人口とは、移住した「移住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。

ゆりはまフェローの活用例

- お試し住宅を利用しながら町のイベントに参加、SNSで情報発信
- ふるさと納税を通じて町を応援
- ゆりはま暮らし体験ボランティア制度（P18）を利用して町民と交流
- 町の移住イベント、ツアーに参加 など

● ゆりはまフェロー登録方法

● Facebookページ「ゆりはまフェローズ」に「いいね！」をするだけ。



● Facebookを利用していない人は、総合相談センターどれみ（電話 0858-32-0801）にお問い合わせください。ゆりはまフェローに認定した証として、名刺を贈呈します。

ゆりはまフェローインタビュー



佐藤 光駿さん

湯梨浜町は、まさしく“第2の故郷”です。

湯梨浜町に訪れたきっかけは、東京大学の地方創生関係のプログラムでした。東京生まれ東京育ちの私にとって、「湯」「梨」「浜」での2週間は凝縮された大自然を満喫する非日常の体験でした。また、そうした凝縮された大自然に惹かれて湯梨浜町を訪れる人々、住み続ける人々との交流は、視野を広げる貴重な経験となりました。都会の暮らしはどこか画一的で、生まれ育った街が“故郷”のイメージとはどこかずれる感覚がありました。しかし、湯梨浜町には誇れる自然・文化だけではなく、自分を見つめ直す多様な価値観とのふれあいがありました。だからこそ、湯梨浜は人間的に成長させてくれた“故郷”だと考えています。

そんな湯梨浜町に魅せられて、プログラム終了後も「ゆりはまフェロー」として継続的に関わらせていただいています。今年は、私がプログラムで発案したサーフィン教室を取り入れた事業のお手伝いをさせていただく予定です。

私のような“よそも”が地域に積極的に関わることができるのも、湯梨浜町の人々の温かさがあってこそです。これからも、大学院に進学して研究者の道を進みつつ、湯梨浜町とより深く関わり続けたいと考えています。

ゆりはま暮らしお試し住宅

相談窓口 松崎駅前総合相談センターどれみ 電話 0858-32-0801

湯梨浜町への移住検討者向けに湯梨浜町での生活を体験できるお試し住宅があります。

【利用方法】 利用期間は3日から1カ月です。

利用期間	利用料金
3日～7日	2,030円/日
8日～22日	14,250円に1,010円/日を加算
23日～	30,550円

※別途、光熱水費300円/日を加算します。



まつぎき屋



もりた屋

ボランティアインタビュー

佐藤 菜月さん 藤岡 香穂里さん

ゲストハウス「たみ」に泊ってみたいと思ったことがきっかけで、ゆりはま暮らし体験ボランティアを知りました。今回お世話になった樋口農園の樋口さんは、湯梨浜町について何も知らない私たちをあちこち案内してくださいました。地元の地域行事にも参加することができ、自分たちだけでは見つからない町のみどころをたくさん知ることができました。

初めて会う私たちに対して、あまりにも親切な湯梨浜町の人たちに初めは驚きましたが、町に住む人、県外から泊まりに来た人、年齢も様々な人が「たみ」に集って交流しているところが、湯梨浜町の懐の深さを表していると思いました。



私たちにできるお手伝い 移住定住者向けの支援制度 一覧表

項目	区分	制度概要
農業	就農応援	新規就農者の就農初期の経営基盤（機械・施設等）整備および運転資金負担軽減を図るため、機械・施設の整備費用補助（5年間・限度額1,600万円）や運転資金助成（3年間・限度額246万円）を実施。
	就農奨励金	就農3年以内の対象者（50歳以上65歳未満）に対し、定額（30万円）を助成。
	新規就農者住宅家賃補助	町外から転入する新規就農者（18歳以上65歳未満）が賃貸住宅に住む場合、その家賃の一部を助成。
	狩猟免許取得支援	町内在住者が狩猟者登録した場合、狩猟免許の取得・更新および狩猟者登録・更新に係る経費の一部を助成。
住宅	空き家物件情報	空き家情報バンクを設置し、移住定住希望者に情報提供する。空き家登録があれば宅建協会の協力を得て物件の調査とあっ旋を行う。
	住宅補助	○空き家改修費助成 移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、改修費の一部を助成。（限度額：移住者が県外者50万円・移住者が町外者25万円）
		○田舎暮らし体験施設整備費助成 民間事業者などが移住定住希望者向けに田舎暮らし体験施設を整備する費用に対して助成。（限度額：100万円）
		○移住定住者住宅整備費助成 県外からの移住定住希望者が、町内の土地に住宅を整備する費用や改修する費用に対して助成。【新築・購入】限度額：1人移住の場合は50万円。2人以上移住の場合は100万円。ただし、町土地開発公社の分譲地に住宅を整備する場合は200万円【改修】限度額：50万円）
		○若者夫婦・子育て世代への住宅取得費助成 どちらかが35歳以下の夫婦、または中学生以下の子ども2人以上を養育する世帯が行う住宅取得費用の一部を助成。（限度額：国の規定する中山間地域60万円。その他50万円。ただし、町土地開発公社の分譲地に住宅を整備する場合は100万円）
		○三世同居世帯等住宅整備費助成 新たに三世同居などを目的として住宅の新築、購入、増改築およびリフォームする費用に対して助成。（限度額：国の規定する中山間地域60万円。その他50万円）
		○移住定住者家賃助成 県外からの移住定住者が、町内の賃貸住宅に入居する場合、家賃に対して助成。（限度額：年12万円）
		○移住定住中古住宅修繕支援補助金 移住者が中古住宅の修繕をする費用に対して助成。（限度額：25万円）
		○空き家利活用流通促進事業補助金 空き家を所有、賃貸または購入する町内に在住する人が空き家の利活用に必要な改修をする費用に対して助成。（限度額：住宅国の規定する中山間地域60万円。その他50万円、非住宅90万円）
		○湯梨浜町結婚新生活支援事業 夫婦ともに39歳以下かつ世帯所得が400万円未満の新規婚姻世帯が住宅を整備する費用に対して助成。【29歳以下】限度額：国の指定する中山間地域80万円。その他90万円。ただし、町土地開発公社の分譲地に住宅を整備する場合は130万円【30～39歳】限度額：国の指定する中山間地域75万円。その他65万円。ただし、町土地開発公社の分譲地に住宅を整備する場合は115万円）
○住宅等取得仲介手数料助成 住宅の購入や住宅用地の取得に要した仲介手数料の一部を助成。（限度額：13万円）		
高齢者住宅整備補助（限度額53万3千円）および障がい者住宅整備補助（限度額66万6千円）を実施。		
住宅耐震化助成	住宅の耐震化費用に対して助成。（耐震診断：無料もしくは限度額89,466円、耐震設計～改修：限度額100万円）	
企業誘致	企業応援	町内で事業を営む法人が一定額以上の設備投資を行った場合、新たに賦課される固定資産税相当額を上限とする奨励金を交付。（3年度・各年度上限1,000万円）
	チャレンジショップ支援 創業・販路開拓支援	空き店舗や空き家で創業される方の賃借料に対し月額上限5万円補助（補助率1/2、最長1年） 支援機関のサポートを受けて町内で創業される方の整備等にかかる経費に対し上限50万円を補助（①創業：補助率1/2、②事業承継：補助率2/3）
各種助成	移住支援金	東京23区に在住または勤務する人が、町内に移住し、県が指定する企業の求人就業または起業支援金を受けた人に移住支援金を交付。（限度額：100万円）
	運転免許取得助成	県外からの移住者が自動車運転免許を取得する場合、取得費用の一部を助成。（限度額：15万円）
	ペーパードライバー講習助成	県外からの移住者がペーパードライバー講習を受講した場合、受講料の一部を助成。（限度額：1万円）
	出産祝金	第3子以降の児童の保護者に5万円を支給。
	特別医療費助成	18才になる年の年度末（高校卒業相当）までの子どもに対し、医療費の一部を助成。
	予防接種	高齢者インフルエンザ予防接種費の助成（1,860円）、障がい者／児童生徒インフルエンザ予防接種費の助成（上限1,500円）、高齢者肺炎球菌予防接種費の一部助成（4,900円）、子宮頸がん予防ワクチン接種費の全額助成。風しんワクチン接種費の助成（上限8,000円、一部の定期接種は全額）
	保育料軽減	同時入所にかかわらず第3子以降の児童は無料、第2子は軽減。第1子と第2子の同時入所の場合、低所得（年収360万円未満）世帯に属する第2子を無料。
	入学祝金	小学校に入学する第3子以降の児童の保護者に3万円を支給。
	卒業祝金	中学校を卒業する第3子以降の児童の保護者に3万円を支給。
	出産・子育て応援給付金	妊娠・出産期に、各5万円（計10万円）を支給。
	乳幼児予防接種	乳幼児の予防接種費の一部助成。インフルエンザ（1回1,500円、2回まで3,000円）、おたふく（上限3,000円）
	不妊治療費助成	年度内の回数無制限。特定不妊治療、不育症治療について助成。
	妊婦健診等	妊婦健診（標準14回）の費用を全額公費負担、1カ月児の家庭訪問指導（育児相談支援）、妊婦の歯科健診費の全額公費負担。
	通学補助	湯梨浜町遠距離通学児童又は生徒に係る通学費補助金交付規程により助成（遠距離通学児童に定期代実費など）
	高校生通学費助成	通学定期券の購入額が、月額7,000円を超えた額を助成。
その他	少人数学級編成	小学校1～4年生は30人学級、その他の学年は33人学級で編成。中学校1年生は33人学級、その他の学年は35人学級で編成。
	奨学金	鳥取県育英奨学金を申請し、受けられなかった人で貸付条件に合致する人に貸与。国公立大学45,000円、私立54,000円、国公立高校18,000円、私立30,000円、専修学校45,000円、それぞれ月額貸与
	奨学金助成	県内で特定の業種に就職し、町に定住する若者の奨学金返還額の一部を助成。（無利子の奨学金：返還額の1/6、有利子の奨学金：返還額の1/8）
	給付型奨学金	町給付型奨学金制度により、年額35,000円を支給。
	就学助成	町就学援助制度により学用品費の一部、学校給食費、修学旅行費の実費などを助成。
	子育て支援	定住対策・子育て支援策として、低額な保育料を設定。
		生後8週間を超えて2歳になるまでの乳幼児を家庭で保育する父母や祖父母に対し、月3万円を支給。ただし、育児休業給付金を受けていないなど要件あり。
		ファミリーサポートセンター・放課後児童クラブの設置。チャイルドシートの無料貸し付け。子育て支援センターの開設。3歳未満の児童を養育している世帯にゴミ袋（50枚）を無料配付。
		縁結び支援員が、結婚を望む男女の出会いを創出し、活動の支援を行う。
	田舎暮らし体験	ゆりはま暮らし体験ボランティアとして、ボランティアに従事する県外者の宿泊費を負担。
IJUターンの推進	お試し住宅の運営。都市圏での移住定住相談会に参加し、移住定住者の呼び込みを図る。	
介護予防	介護予防事業（筋力向上トレーニング事業・ミニデイサービス事業・脳活トレーニング事業・温泉トレーニング事業・食の自立支援事業・地域介護予防活動支援補助事業介護予防講演会）の実施	

※それぞれの補助制度・助成制度には、交付に際して要件があります。

移住相談窓口はこちら

ふるさと鳥取県定住機構窓口

東京



ふるさと鳥取県定住機構 東京駐在

〒105-0004 東京都港区新橋1-11-7
 新橋センタープレイス2階
 とっとり・おかやま新橋館
 移住・しごと相談コーナー内
 電話 0120-841-558 (平日10:00~18:00)
 HP <https://furusato.tori-info.co.jp/iju/desk/index.html>

大阪



ふるさと鳥取県定住機構 関西駐在

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3-2200
 大阪駅前第3ビル22階
 鳥取県関西本部内
 電話 0120-841-558 (平日8:30~17:15)
 HP <https://furusato.tori-info.co.jp/iju/desk/index.html>

東京

生涯活躍ポータル「カラフル」

「生涯活躍のまち」づくりに取り組む湯梨浜町を含む5つの市町への扉を開くポータル(入り口)が、東京都にあります。それぞれのまちの魅力や仕事、趣味や学び、住まい、暮らしなど、移住に向けたご相談をワンストップでサポートします。ぜひお気軽にご相談ください。

〒108-0014 東京都港区芝5-26-24
 ビジネスエアポート田町2階 Room29
 電話 03-4567-6687 ※訪問の際は事前にご予約ください。
 HP <https://kanmin-renkei.jp/colorful/>



●湯梨浜まちづくり株式会社

〒689-0714 鳥取県東伯郡湯梨浜町大字龍島500番地
 湯梨浜町役場東郷支所2階A室

電話 0858-48-6210
 HP <https://yurihama-machidukuri.net>

Instagram
 アカウント▶

▼Facebookアカウント



湯梨浜町移住定住ガイドブック2023

発行 鳥取県湯梨浜町

【お問い合わせ】

湯梨浜町デジタル・みらい戦略課

〒682-0723 鳥取県東伯郡湯梨浜町久留19番地1

TEL 0858-35-3141 Fax 0858-35-3697

HP <https://www.yurihama.jp/> E-mail ymirai@yurihama.jp



掲載の情報は2023年4月現在のものです。データが変更になっている場合もありますので、あらかじめご了承ください。

 NAGOWEB

 RUNWAYS

 irodori-ya

 SMART HOME



再生紙を使用
しています

企業版ふるさと納
税で湯梨浜町を応
援していただいた
企業の皆様のロゴ
を掲載しています